

大阪、初リサイタル!

ヴァイオリン

アリーナ・イブラギモヴァ & セドリック・ティベルギアン

ピアノ

ロンリテイボー Cédric Tiberghien
国際コンクールの覇者

女神に祝福された、

いま世界がもっとも注目するヴァイオリニスト

Alina Ibragimova

ブラームス「雨の歌」!

ブラームス：
ヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会
Brahms: Complete Violin Sonatas

第1番 ト長調「雨の歌」 Op.78
No.1 in G major [Regenlied] Op.78

第2番 イ長調 Op.100
No.2 in A major Op.100

第3番 二短調 Op.108
No.3 in d minor Op.108

2019
2.14 [木] 18:30 開場
19:00

Izumi Hall
いずみホール
<http://www.izumihall.jp>

全席指定 (税込) 一般¥5,000/学生¥2,500
いずみホールフレンズ会員¥4,500

チケット
好評発売中

チケットのお問合せ・お申し込みは
いずみホールチケットセンター 06-6944-1188
[AM10:00~PM5:30 日曜・祝日 休業]

いずみホール
オンライン チケットサービス
www.izumihall.jp/ticket/

チケットぴあ pia.jp/t 0570-02-9999
ローソンチケット 0570-000-407
<http://l-tike.com/>
e+(イープラス) <http://eplus.jp/>

主催：ユーラシック 共催：いずみホール [一般財団法人住友生命福祉文化財団]

アリーナ・イブラギモヴァ

(ヴァイオリン)

Alina Ibragimova, Violin

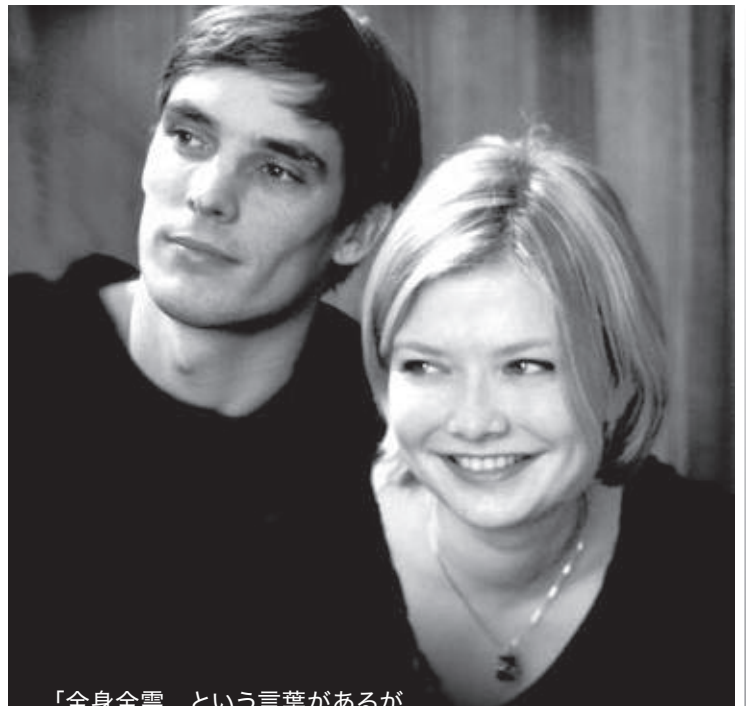
バロック音楽から委嘱新作までピリオド楽器とモダン楽器の両方で演奏するアリーナ・イブラギモヴァは、ロンドン響、フィラデルフィア管、クリーヴランド管、バイエルン放送管、マリンスキー劇場管、エイジ・オブ・エンライトメント管等と共演。これまでにベルナルド・ハイティンク、ヴァレリー・ゲルギエフ、サー・ジョン・エリオット・ガーディナー、パーヴォ・ヤルヴィ、フィリップ・ヘレヴェッヘ等、世界的指揮者と共演。室内楽でパートナーを組むセドリック・ティベルギアンとは、ウィグモア・ホール、コンサートヘボウ、ムジークフェライン、カーネギー・ホールなどの他、ザルツブルク、ヴェルビエ、ロッケンハウス、そしてオールドバラなどの音楽祭に出演。ロシア生まれ。モスクワのグネーシン音楽学校で学び、その後イギリスに移住しメニューイン・スクールと王立音楽院で学ぶ。2010年のロイヤル・フィルハーモニック協会のヤング・アーティスト賞、ボルレッティ=ブイトーニ・アワード、クラシカル・ブリット・アワードを受賞。ハイペリオン・レコードで録音を多数行っており、楽器はゲオルク・フォン・オベルから貸与されたアンセルモ・ベローシオ(c.1775年製)を使用。2016年、大英帝国勲章MBEを授与される。

セドリック・ティベルギアン

(ピアノ)

Cédric Tiberghien, Piano

セドリック・ティベルギアンは世界で最も名声のあるホール、近年ではカーネギー・ホール、クイーン・エリザベス・ホール、ウィグモア・ホール、シャンゼリゼ劇場、ザルツブルクのモーツァルテウム等に登場。これまでにロンドン響、ボストン響、パリ管等と共演。またクリストフ・エッセンバッハ、イルジー・ビエロフラーヴェク、クルト・マズア等、世界的指揮者と共演。リサイタルでは、ウィーン・コンツェルトハウス、アムステルダム・コンサートヘボウのほか、ウィグモア・ホールの名誉あるマスター・シリーズへの出演やシャンゼリゼ劇場に登場。パリ国立高等音楽院で、わずか17歳でプルミエ・プリを受賞後、複数の国際コンクールで入賞し、中でも特筆すべきは、1998年、ロン＝ティボー国際コンクールでの優勝で、合わせて5つの特別賞も受賞。セドリック・ティベルギアンは室内楽にも熱心に取り組んでおり、特に、アリーナ・イブラギモヴァ(vn)、アントワン・タメスティ(va)、ピーター・ウィスペルウェイ(vc)とは定期的にパートナーを組んでいる。今シーズンのハイライトでは、2018年9月ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の定期演奏会にデビュー、サー・ジョージ・ベンジャミン指揮でラヴェル左手のための協奏曲を演奏。



「全身全霊、という言葉があるが、イブラギモヴァの演奏を形容するのに、これ以上の言葉はない」

——— 岩野裕一 (音楽ジャーナリスト)

「アリーナの演奏の魅力は、音楽の語り口(抑揚や和声感)が明晰で説得力十分であるのと同時に、まるで今ここで作品が生成されているかのような即興的新鮮さとヴィヴィッドさが同居していることにある」

——— 松本 學 (音楽批評)

「アリーナ・イブラギモヴァのヴァイオリンには、天性の美しさがある。

それは、多様な作品を旅するなかで、決して曇ることのない澄んだ輝きをもつ。

清明さや朗々とした表情は、鋭い直感と即興的な自由によって局面ごとの変化を柔軟に歩みながら、彼女自身の品性として相応しい光をいつも湛えているように思える」

——— 青澤隆明 (音楽評論)

@Sussie Ahlburg

いずみホール [一般財団法人 住友生命福祉文化財団]

〒540-0001 大阪市中央区城見1-4-70

□駐車場完備 (有料)

JR大阪城公園駅より徒歩約5分

地下鉄OBP駅より徒歩約10分

京阪京橋駅より徒歩約15分

●公演内容については一部変更される場合がございますので、ご了承ください。●お席は全席指定です。●チケットの料金には消費税が含まれています。●未就学児童のご入場はご遠慮ください。●学生券はいずみホールチケットセンター窓口でのみお取り扱いしております。(限定数)

 Izumi Hall

<http://www.izumihall.jp>

